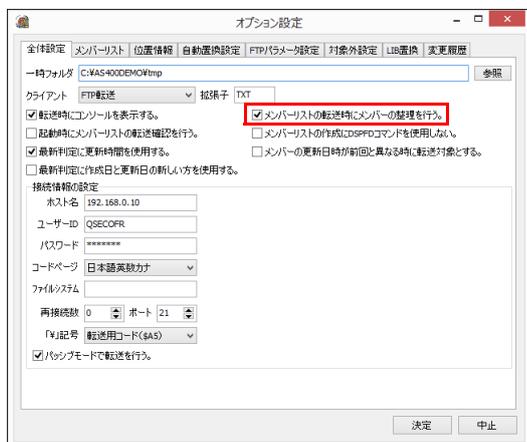


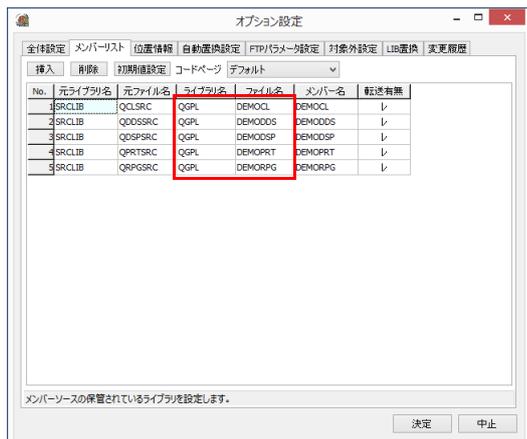
## 4-11OS400 のバージョンが変わった場合の手順は？

OS400 のバージョンが変わった場合、「ファイル転送」などで使用されている転送用のパラメータファイルの記述が合わなくなることがあります。そのためバージョンが変わったら、まずは現在のパラメータファイルが変更された OS400 のバージョンと合っているかチェックする必要があります。

はじめに「ファイル転送」を起動してオプション設定の [全体設定] タブを開き、「メンバーリストの転送時にメンバーの整理を行う。」のチェックボックスを確認します。もしチェックされている場合はパラメータファイルの設定が正しくなるまで一時的にチェックを外してください。**外し忘れると、メンバーリストのズレがあった場合に転送済みのメンバーソースが削除される可能性があります。**



次に「ファイル転送」で転送しているメンバーリストを削除します。削除はエミュレータなどを使用していきます。なおメンバーリストや保管先のライブラリが分からない場合、オプション設定の [メンバーリスト] タブを参照して下さい。



最後に「メンバーリストの作成」および「メンバーリストの転送」を行います。転送後に「ファイル転送」の画面で転送されたメンバーリストにズレがないか確認します。

もしズレが発生している場合はパラメータファイルが現在の OS400 のバージョンと合っていないため、この後の「パラメータファイルを調整するには？」を参考にパラメータファイルの設定を変更してください。

## 4-12パラメータファイルを調整するには？

Trinity を使って IBM i から PC に転送されたメンバーリストは、転送用のパラメータファイルを元に PC 側で閲覧できるテキスト形式のファイルに変換されます。パラメータファイルには転送を行うファイルのレコード長や項目の開始位置、名称、属性などが保管されています。

パラメータファイルの内容は IBM i のバージョンに依存するため、環境によっては正しく転送が行えない場合があります。そのような場合、ここで説明する手順に従ってパラメータファイルの変更を行ってください。

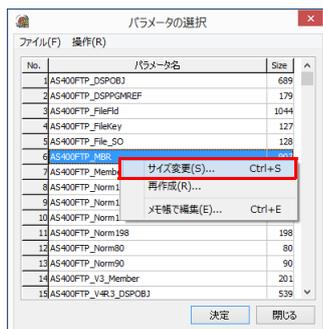
初めにエミュレータなどでメンバーリストの「最大レコード長」を調べます。



次に Trinity に戻ってオプション設定の「位置情報」タブを選択します。続いて「パラメータ名」の入力エリアの右端にある「選択」ボタンをクリックします。

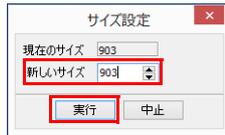


パラメータの選択画面が表示されますので、パラメータファイル名を選択後にマウスの右ボタンをクリックしてポップアップメニューを表示させます。続いて「サイズ変更」をクリックします。



---

サイズ設定ダイアログが表示されますので、**[新しいサイズ]** に初めに調べたメンバーリストの最大レコード長を入力して **[実行]** ボタンをクリックします。確認メッセージが表示されますので **[はい]** ボタンをクリックしてサイズ変更を確定します。



パラメータ選択画面の一覧で、レコード長が変更されていることを確認したら **[決定]** ボタンをクリックして完了です。

## 4-13 OS400 のバージョン毎にパラメータファイルを増やすには？

OS400 のバージョン毎にパラメータファイルを増やしたい場合、以下の手順でパラメータファイルを増やします。

初めにパラメータファイルをコピーします。ファイル転送にはパラメータファイルのコピー機能は用意されていないので、Windows のエクスプローラなどを使用してインストール先の「Winfd」フォルダを開いてパラメータファイルをコピーします。メンバーリストの場合、パラメータファイルは「AS400FTP\_MBR.PRM」もしくは「AS400FTP\_Member.PRM」です。

コピーするファイル名は必ず「AS400FTP\_xxxx.PRM」にします。そのため、分かりやすく「AS400FTP\_V5R4\_MBR.PRM」のように OS のバージョンを付加するとよいでしょう。

あとはファイル転送の画面でコピーしたパラメータファイルに対して OS400 のバージョンに合った最大レコード長を設定します。詳しくは 27 ページの「パラメータファイルを調整するには？」を参照して下さい。